上郡町
内水浸水想定
ハザードマップ［地域版］
［尾長谷地区］

この地図は、上郡町に想定し得る最大規模の降雨（1000 年に 1 回程度起こる大雨）が降った場合に浸水が想定される区域と水深、避難所等を表示しています。

緊急時に確認

災害時にとるべき行動を判断するにあたり、上郡町が発令する避難情報等（警戒レベル）を参考にしてください。

避難情報など（警戒レベル）

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
警戒レベル 4 までに必ず避難！			
4	災害の恐れ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害の恐れあり	危険な場所から高齢者は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化の恐れ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）

河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）

警戒レベル	浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報
4 相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2 相当	氾濫注意情報	－
1 相当	－	－

町から発令する非難情報等（警戒レベル）は、河川や雨の情報（警戒レベル相当情報）のほか、地域の土地利用や災害実績などもふまえ総合的な判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域情報は必ずしも一致しません。

浸水想定区域とは

＜凡例＞浸水想定区域（浸水深）

10 ～ 20m
5 ～ 10m
3 ～ 5m
1 ～ 3m
0.5 ～ 1m
0.3 ～ 0.5m
0.3m 未満
内水氾濫による被害予測の対象範囲外

ハザードマップでは、上郡町の既往最大降雨である 2007 年 8 月 22 日降雨（56mm/hr）の約 2.3 倍の雨が降った場合に浸水が想定される範囲やその深さを示しています。この際、上郡町内の下水道区域の排水施設（水路、ポンプなど）をモデル化し、氾濫シミュレーションをすることで、排水施設から溢れた雨水による浸水深を計算しています（洪水ハザードマップとの違いは右上図参照）。ただし、設定した雨量に満たない降雨でも、雨の降り方によっては着色されていない場所でも、浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。

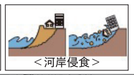
家屋倒壊等氾濫想定区域とは（防災ハザードマップより）

堤防沿いの地域等において、洪水時に家屋が倒壊するような激しい氾濫流等が発生するおそれが高い区域です。家屋倒壊等氾濫想定区域は氾濫流（河川の氾濫により家屋が倒壊、流失するおそれのある区域）と河岸侵食（河川の増水時に生じる河岸や堤防の侵食等により家屋が倒壊、流失するおそれのある区域）の 2 種類があります。氾濫流・河岸侵食のどちらに該当するかは兵庫県 CG ハザードマップにて確認することができます。

この区域では、一般的な木造家屋等は倒壊するおそれがあり、避難が遅れると命の危険が非常に高いため、洪水時には避難指示等に従って安全な場所に確実に避難する必要があります。

＜凡例＞
家屋倒壊等氾濫想定区域
（氾濫流・河岸侵食）

＜氾濫流＞


＜河岸侵食＞

土砂災害（特別）警戒区域とは

渓流や斜面及びその下流など土砂災害により被害を受けるおそれのある区域の地形、地質、土地利用状況について基礎調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域等を指定します。

区域は「急傾斜地の崩壊」、「土石流」、「地すべり」の 3 つに分類されます。マップ上のイエローゾーン等がどの種類に分類されるかは兵庫県 CG ハザードマップで確認することができます。

土砂災害のおそれのある区域では、土砂災害警戒情報や町からの避難情報が発表された場合、すぐに避難を開始しましょう。大雨が降り続いていたり、今後の大雨が予想される場合などは自主的に避難行動を開始しましょう。

◎土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

◎土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

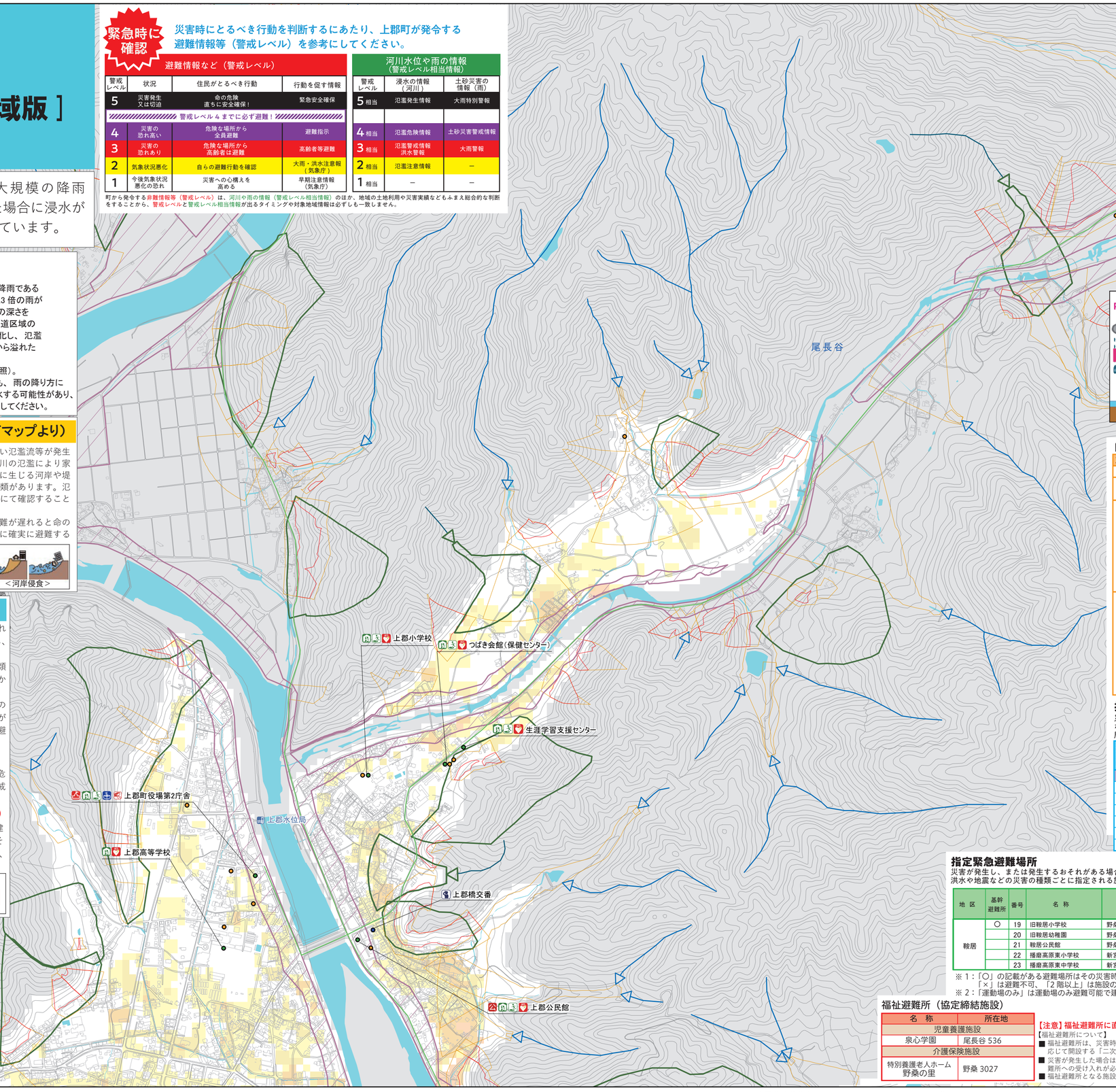
イエローゾーンのうち、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

＜凡 例＞
土砂災害警戒区域　　土砂災害特別警戒区域

山地災害危険区域とは

山崩れ、土石流、地すべりなどによって人家や公共施設などに直接被害を与えるおそれのある渓流や自然斜面について調査を行ない、地質や地形などから一定の基準以上の危険度であると判定した地区及びそれらの被害想定区域をまとめて表示したものです。

＜凡例＞
山地災害危険区域



内水氾濫と外水氾濫（洪水）の違い

防災関係機関

施設区分	名　称	所在地	電話番号
役場	上郡町役場	大持 278	52-1111
消防署	上郡消防署	與井 29-3	52-5119
分署	光都分署	光都 2-21-1	58-0119
警察署駐在所	上郡橋交番	上郡 800	22-0110
	上郡駅前交番	竹万 110-16	
	中野駐在所	中野 610	
	野桑駐在所	野桑 1392-3	
	赤松駐在所	赤松 350-3	
	八保駐在所	八保甲 144-2	
	梨ヶ原駐在所	梨ヶ原 585-1	
	科学公園都市交番	光都 2-23-1	
医療機関	大岩診療所	上郡 1645-5	52-5000
	岡田整形外科	與井 39-1	52-5600
	河原クリニック	竹万 2167	57-2167
	黒田内科クリニック	駅前 95	52-0235
	光都プラザクリニック	光都 2-23-1	58-0088
	苔縄医院	苔縄 1042-2	52-5611
	高嶺診療所	大持 202-2	52-6369
	半田産婦人科	大持 350	52-1000
	三浦医院	駅前 231	52-0045

指定避難所

災害の危険性があり避難した住民の方や災害により家に戻れなくなった住民の方などが、災害の危険性がなくなり安全な居住場所を確保するまで一時的に滞在するための施設です。

避難所	基幹	番号	名　称	所在地	AED
鞍居					
○		16	旧鞍居小学校	野桑1303	
		17	旧鞍居幼稚園	野桑1275-1	
		18	鞍居公民館	野桑1275-1	○
		19	金出地老人憩いの家	金出地909	
		20	播磨高原東小学校	新宮町光都2-6-1	○
		21	播磨高原東中学校	新宮町光都2-4-1	○

指定緊急避難場所

災害が発生し、または発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための緊急の避難場所として、洪水や地震などの災害の種類ごとに指定される施設や場所です。

地 区	基幹避難所	番号	名 称	所在地	避難可能な災害の事象 内水	洪水	土砂災害	地震	大規模な火災	AED
鞍居	○	19	旧鞍居小学校	野桑 1303	－	2 階以上	×	運動場のみ	○	
		20	旧鞍居幼稚園	野桑 1275-1	－	×	×	○	×	
		21	鞍居公民館	野桑 1275-1	－	2 階以上	○	○	×	○
		22	播磨高原東小学校	新宮町光都 2-6-1	－	○	○	○	○	○
		23	播磨高原東中学校	新宮町光都 2-4-1	－	○	○	○	○	○

※ 1：「○」の記載がある避難場所はその災害時に避難可能、「×」は避難不可、「2 階以上」は施設の一部のみ避難可能
※ 2：「運動場のみ」は運動場のみ避難可能で建物への避難は不可

福祉避難所（協定締結施設）

名　称	所在地
児童養護施設	
泉心学園	尾長谷 536
介護保険施設	
特別養護老人ホーム 野桑の里	野桑 3027

【注意】福祉避難所に直接避難することはできません。

【福祉避難所について】
■ 福祉避難所は、災害時において一般の避難所での生活が長期化する恐れがあるとき必要に応じて開設する「二次的避難所」であり、支援が必要な方に対応できる施設です。
■ 災害が発生した場合は、まず体育館や公民館など一般の避難所に避難してもらい、福祉避難所への受け入れが必要か否かは、上郡町で判断し、施設へ協力を要請します。
■ 福祉避難所となる施設は、町からの協力要請に基づき、対象者を受け入れます。

1:10,000　0　500 m

凡例
上郡町役場
公民館
指定緊急避難場所
指定避難所
消防署
交番・駐在所
雨量計
アンダーパス
河川等監視カメラ
ポンプ場
水位計
要配慮者利用施設
AED
ヘリポート
冠水想定箇所
一次緊急輸送道路

※想定降雨量：1 時間最大雨量 130mm（降雨確率 1000 年以上）